

KOLA

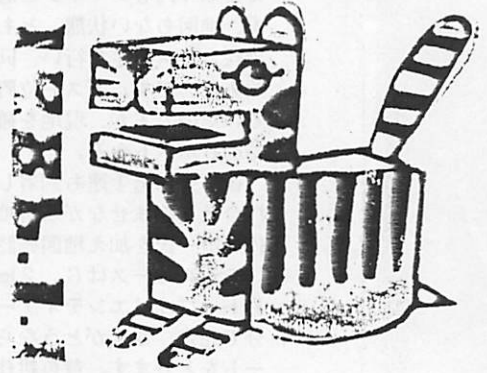
第
43
号

発行
1/15

編集
岸和田
オリエンテーリング協会
編集局

謹賀新年

1986 も 宜しく



西日本オリエンテーリング大会
兼 奈良公園 奈良国際大会
1986. 1. 12 00



ト114.

- 女子組 (3歳組)
- 1 道路の曲がり (A)
 - 2 道路と小道の交点 (B)
 - 3 小道の分岐 (C)
 - 4 池の東 (D)
 - 5 行碑 (E)
 - 6 樹 (F)
 - 7 小道の曲がり (G)
 - 8 道路の分岐 (H)

外国招待選手達のトレーニングコース設定

西日本大会兼国際大会の本番まで数日を残す正月松の内、突然JOLCより外国招待選手達の為のトレーニングコース、ポスト設置を依頼されることになりました。

奈良O.L協会等準備を始めていたが、諸般の事業により人手不足になったのでとの事。私も前日の宿を求めていたこともあり、また、外国の一流選手達と接する機会をもてると言う願ってもないことなので即イエスの返事をしたのです。ところがJOLC、奈良と連絡をとっている内、徐々に内容がポスト設置からMODEL COURSE設定も含まれると知り内心シマッタと思ったものです。しかも予定ゲレンデは若干変更し、現地も知らず、地岡もない状態。ともかく引き受けた以上、10日から奈良入りし、地岡上のポスト設置コース設定を行い、同日奈良入りした糺野先生と検討の後、午後現地入りして設置を始めたのです。ポスト位置は主に奈良O.LCの主催した大会の全ポストマップを参考にしていたのですが、現地を確認しながらでは時間がかかります。また、置けない地点もあり結局6ポストのみ。

夜、外国選手達も到着しだし、JOLCの関係者、青木先生、田口先生も到着。食事や打合せを済ませながら再度検討。そして翌、11日午前、田口先生、千葉、京葉O.L.Kの佐藤清一氏を加え地図確認を行いながらコースセッティングと相成った次第なのです。

モデルコースは6. 2km 13ポスト所要1時間~1時間半位を想定していたのですが世界トップオリエンティアー達はトレーニングの為無理をしていないのかかわらず40数分で完走、さすがとうならせました。彼等はともかく爽快に走ります。しかも注意深くルートをとります。黄色耕作地通行禁止であれば迂回をし、ルールと自然を守りながらのランなのです。また時間厳守もさすがです。全員が指定の時刻にバスに戻ってきます。コース途中でも切り上げてバスにのる時刻に遅れません。予定通りトレーニングコースを終了し撤収も予定通り終ることができました。彼等は「撤収を手伝おう。一人一ポスト撤収すれば3人よりも早く終わるよ。」と申し出てくれたのですが、丁重におことわりし3人で撤収、外国では普通に行われる会話をたそうです。もっとも私は英会話ができず田口先生から教えてもらって始めてわかるのですが、今回ほど英会話が出来ればと……思ったものです。もっともっと話を聞くことができたのに、ほんとうに残念。！！

しかし、いろいろ学ぶことは多くお手伝いさせてもらえたことはほんとうに良かったと思っています。

最後に良いのかどうかわかりませんがトレーニングコースを記入したマップ(検討に用いたりして若干よごれている地図)が少し手元にありご希望の方に差し上げます。ご連絡下さい。

——瀬戸——

1/5 KOLA新春O.L大会、成績表

天候 曇り時々雪、前夜少雪自然の氷

順位	名前	性別	所属	タイム
1	高橋 剛	男	大阪大学O.LC	38.22
2	谷本 宣	男	大阪大学O.LC	41.17
3	小川 隆	男	吹田市	41.52
4	吉引 隆	男	吹田市	44.01
5	吉引 隆	男	吹田市	48.18
6	出村 修	男	吹田市	48.56
7	毛利 真	男	吹田市	52.07
8	池田 富	男	大阪O.LC	56.53
9	秋本 一	男	吹田市	56.54
10	上野 崇	男	吹田市	58.43
11	田端 智	男	吹田市	59.39
12	松引 修	男	吹田市	59.48
13	松引 修	男	吹田市	1.01.19
14	池田 隆	男	吹田市	1.01.45
15	辻村 隆	男	吹田市	1.04.07
16	鹿田 隆	男	吹田市	1.06.16
	林 隆	男	吹田市	1.24.09
	西野 公	男	吹田市	PI (1.06.36)
A-775				
1	吉引 隆	男	吹田市	1.07
2	松引 修	男	吹田市	34.35
3	鳥越 和	男	吹田市	37.15
4	夏目 隆	男	吹田市	41.37
5	秋山 隆	男	吹田市	48.57
6	生駒 隆	男	吹田市	49.34
7	川崎 隆	男	吹田市	54.55
	下本 隆	男	吹田市	57.39
	寺田 隆	男	吹田市	PI (56.11)
B-775				
1	吉引 隆	男	吹田市	1.07
2	松引 修	男	吹田市	34.35
3	鳥越 和	男	吹田市	37.15
4	夏目 隆	男	吹田市	41.37
5	秋山 隆	男	吹田市	48.57
6	生駒 隆	男	吹田市	49.34
7	川崎 隆	男	吹田市	54.55
	下本 隆	男	吹田市	57.39
	寺田 隆	男	吹田市	PI (56.11)
C-775				
1	吉引 隆	男	吹田市	1.07
2	松引 修	男	吹田市	34.35
3	鳥越 和	男	吹田市	37.15
4	夏目 隆	男	吹田市	41.37
5	秋山 隆	男	吹田市	48.57
6	生駒 隆	男	吹田市	49.34
7	川崎 隆	男	吹田市	54.55
	下本 隆	男	吹田市	57.39
	寺田 隆	男	吹田市	PI (56.11)

(注) *印は女性参加者です。

1月12日大和路走る!

KOLA成績速報 PM2.00現在

60年度西日本大会兼国際大会が1月12日奈良市内において開催され、KOLAメンバー、トリム3チーム、個人4名が出場しました。午後2時現在、トリム3チームは全員入賞、個人、瀬戸H21Bが入賞、寺田保H35Bが規程時間内、大西H50Bがミスパンチの為惜しくもP1、平松H70が途中ミスオーバーの為残念ながらリタイア。

M2:00 速報より、

トリム-O 家族組 ㊤ 1:25

① 町田邦雄 組 51:10

② 瀬戸照江組(3名) 1:16:23 KOLA

④ 松阪 春雄 組(3名) 1:19:12 KOLA

⑦ 井田 強 組(2名) 1:24:16 KOLA

H70 ㊤ 12名

① 菅井 壮三郎 71 横決 OLC 1:16:55

平松 正人 71 菅井組 OLA ケケン

H50B ㊤ 13名

① 安井 高雄 53 みやこ OLC 1:04:42

大西 明雄 51 菅井組 OLA P1

H35B ㊤ 18名 ㊤ 2:15 ㊤ 3:09

① 城戸 哲男 35 三栗 OLC 同 1:31:15

② 西本 一雄 37 本田 OLC 1:55:07

③ 桜内 保幹 38 松江 OLC 1:57:01

⑫ 井田 保 38 菅井組 OLA 3:02:09

H21B ㊤ 92名 ㊤ 1:36 ㊤ 2:14

① 榊原 創孝 31 藤井 勇 1:15:44

② 山本 康 23 パンコン 1:16:18

③ 光本 昌弘 21 横決 OLC 1:16:19

⑭ 瀬戸 照久 33 菅井組 OLA 1:32:47

㊤ 出場者数 ㊤ エントリー数、㊤ ㊤ は速報を速算です。

西日本大会へ参加した、KOLAのみなさんのコメントです!

平松正人、H70

- ・ なつかしい腹をたくさん見た、
- ・ 参加するのには意義があり、おもしろかった。
- ・ おもしろいコースだった、走るのがしんどかった。

大西明雄 H50B

- ・ ひさびりの大会参加で満足。
- ・ 国際大会なので他の人達も出ればよかったのに...
- ・ パナがでた、もっとがえればよかった...
- ・ クラブとしての参加も良いものだ。
- ・ クラブのチームと復は良かった。

井田 強 組、トリム-O 家族

- ・ なんとオI賞はトリムO2受けまで長いこと。
- ・ これはパーマメントコース? か。
- ・ 参加七の愛のこと、たった150円、X4にカリキイトつき。

寺田保 H35B

・ 3:02:09、15人中12位、自己最高迷走記録、持た。

・ H35B クラス、2度目の出場で

スタート気分は楽だったが、森の中、ポスト間100mの4番ポストを取るのは30分以上遅くなりまわす。

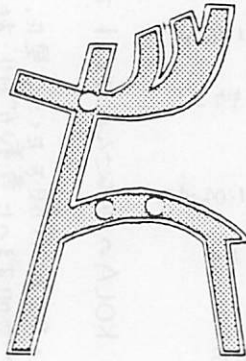
- ・ 落差100mかと奥の崖、途中何度切株に腰を下した事か、Xんな崖登りが2度、3度も、きつかった。
- ・ コンパスワーク、地図読みがな、てなかつたのと足が弱って上がらなかつた、たが梅まら。

地図記号

Map symbols

	主要道路(交通量多い、少ない) Road (Traffic is heavy than)
	舗装道路 Paved road
	道路 Dirt road
	川 Cult track
	小道 Footpath
	小径 Small path (Less obstruct)
	切り開き Narrow cut way
	送電線、鉄塔 Power line, Pylon
	植生界(明確、不明瞭) Vegetation boundary
	橋(通り抜け可能) Bridge (Crossable)
	橋(通り抜け不可能) Bridge (Not crossable)
	建物密集地、建物、建物群 Settlement, Building, Room
	射撃場 Firing range
	草、草地 Grass, meadow
	小さな塔、人工的建築物 Small tower, Special man-made feature
	石、石、大きな石、石 Boulder
	土がけ、岩がけ(通行可能) Steep bank, Rock face (Crossable)
	土がけ、岩がけ(通行不可能) Steep bank, Rock face (Not crossable)
	大石・小さな石、大石、小石 Large stone, Small stone, Boulder
	小池、小さな池 Small pond, Small pool
	凹地、小さな凹地、穴 Depression, small depression, Pit
	石質、積穴(谷、土) Rocky soil, cave
	川、小川、池 River, stream, pond, lake
	流れない川 Inflowing river
	溝、季節的水路、せき Less obstruct ditch, Dam
	ぬかるみ、ぬかるみ、ぬかるみ Mud, mud, mud
	池、貯水槽・プール、小さな池 Pool, Water tank, Swimming pool, Water rise
	泉、湧水点 Spring
	切株、倒木 Stump, Fallen tree
	立ち入り禁止の開けた土地 Prohibited open land
	立ち入り可能な開けた土地 Open land
	果樹園・樹木列 Orchard
	民家等の牧地 Premise
	駐車場 Parking place
	湿地(開けている) Marsh (Open)
	湿地(木がある) Marsh (Wood)
	湿地(水がある) Marsh (Water)
	不明瞭な湿地 Indistinct marsh
	廃地・植林地 Waste land, Afforestation area
	通行可能 Normal running
	ゆっくりとしか走れない Slow running
	ゆっくりとしか走れない Difficult running
	通行困難 Fruit
	立ち入り禁止 Prohibited

All Controls 62



0 100 500m

十 救護所
First Aid



大和青垣

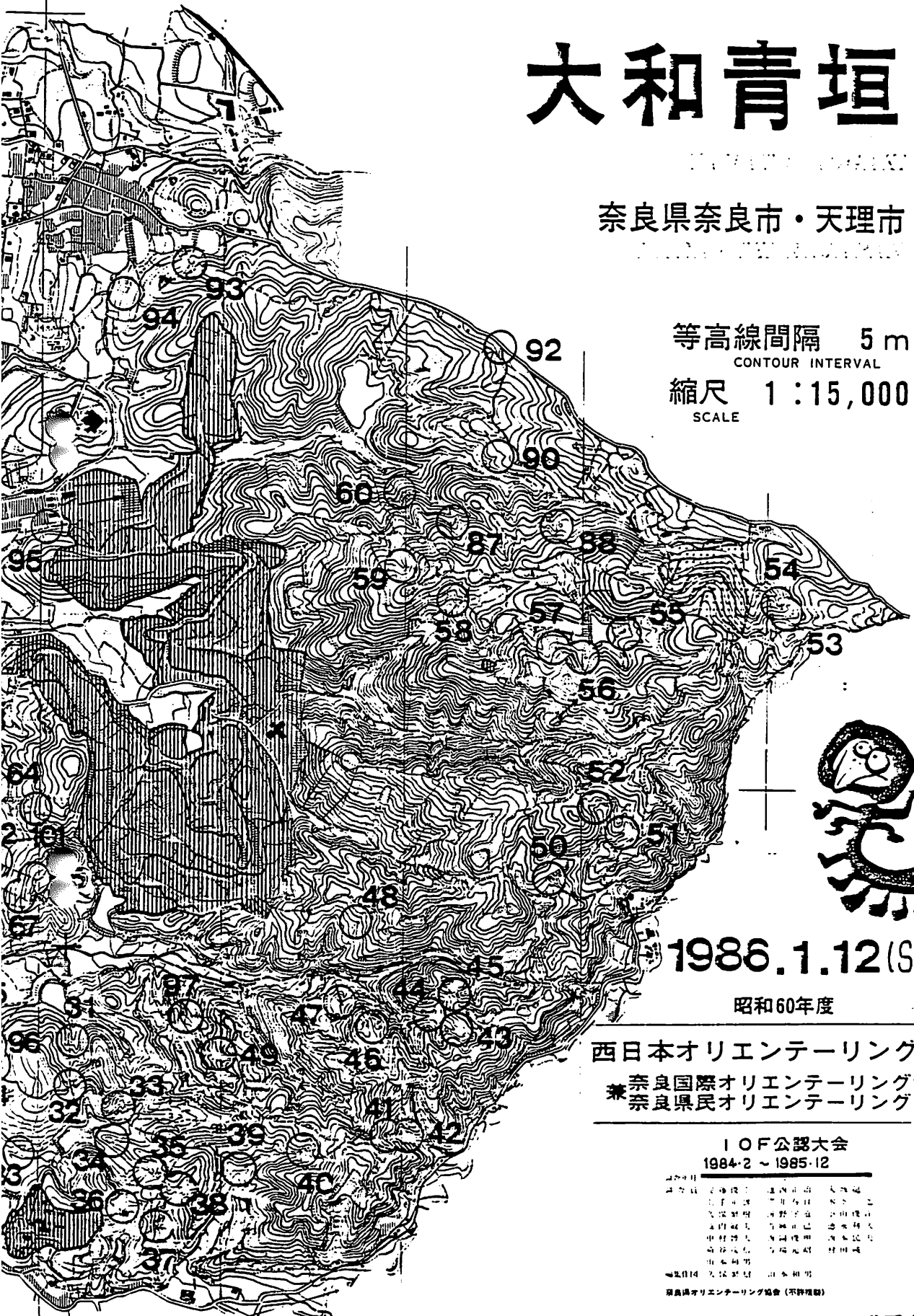
奈良県奈良市・天理市

等高線間隔 5 m

CONTOUR INTERVAL

縮尺 1:15,000

SCALE



1986.1.12 (SUN)

昭和60年度

西日本オリエンテーリング大会

兼 奈良国際オリエンテーリング大会
兼 奈良県民オリエンテーリング大会

IOF公認大会

1984-2 ~ 1985-12

大会日	大会名	主催者	会場
1984.2.18	第1回大会	奈良県民会	奈良市
1984.3.18	第2回大会	奈良県民会	奈良市
1984.4.18	第3回大会	奈良県民会	奈良市
1984.5.18	第4回大会	奈良県民会	奈良市
1984.6.18	第5回大会	奈良県民会	奈良市
1984.7.18	第6回大会	奈良県民会	奈良市
1984.8.18	第7回大会	奈良県民会	奈良市
1984.9.18	第8回大会	奈良県民会	奈良市
1984.10.18	第9回大会	奈良県民会	奈良市
1984.11.18	第10回大会	奈良県民会	奈良市
1984.12.18	第11回大会	奈良県民会	奈良市
1985.1.18	第12回大会	奈良県民会	奈良市
1985.2.18	第13回大会	奈良県民会	奈良市
1985.3.18	第14回大会	奈良県民会	奈良市
1985.4.18	第15回大会	奈良県民会	奈良市
1985.5.18	第16回大会	奈良県民会	奈良市
1985.6.18	第17回大会	奈良県民会	奈良市
1985.7.18	第18回大会	奈良県民会	奈良市
1985.8.18	第19回大会	奈良県民会	奈良市
1985.9.18	第20回大会	奈良県民会	奈良市
1985.10.18	第21回大会	奈良県民会	奈良市
1985.11.18	第22回大会	奈良県民会	奈良市
1985.12.18	第23回大会	奈良県民会	奈良市

奈良県オリエンテーリング協会 (不詳掲載)

日本オリエンテーリング委員会

①

H 21E	1070D	7720
1 96	Λ	Π
2 37	↓	Π
3 48	▲	1 Q
4 57	△	1.5 O
5 88	○	ñ
6 60	←	1 O
7 58	↑	2 Q
8 54	↑	1 Q
9 51	Λ	∇
10 45	←	1 E
11 42	Λ	∇
12 67	∴	▲
13 64	π	2 Q
14 95	∇	∇
15 M	∇	∇

○---500---○

③

H 19-20E	10500	7710
1 94	⊖	
2 37	↓	Π
3 48	▲	1 Q
4 56	⊖	→
5 88	○	ñ
6 87	↑	3 Q
7 58	↑	2 Q
8 53	∩	Π
9 51	Λ	∇
10 45	←	1 E
11 41	π	∇
12 67	∴	▲
13 101	π	T
14 95	∇	∇
15 M	∇	∇

○---500---○

⑤

H 21E	7000
1 64	π 2 Q
2 82	Λ
3 49	Λ
4 41	π
5 43	∇
6 52	∇
7 55	∇
8 53	∴
9 60	←
10 92	∇
11 93	∇
12 M	∇

○---1000---○
○---500---○

⑧

H 40A	H 45A	H 35A	H-0B	7000
1 72	∇	∇	∇	
2 38	∇	∇	∇	
3 42	Λ	∇	∇	
4 45	←	π	1 E	
5 57	▲	1.5 O		
6 88	○	ñ		
7 90	∇	∇	∇	
8 92	∇	∇	∇	
9 93	∇	∇	∇	
10 94	∇	∇	∇	
11 M	∇	∇	∇	

○---1000---○
○---500---○

⑫

H 55A	H 50A	D 35A	D 40A	D-0A	6700
1 73	∇				
2 70	X				
3 31	Λ				
4 39	∩				
5 46	X				
6 52	∇				
7 57	∇				
8 88	○				
9 92	∇				
10 93	∇				
11 94	∇				
12 M	∇				

○---1000---○
○---500---○

⑬

H 15-16A	D 17-18A	D 15-16A	7100
1 73	∇		
2 70	X		
3 82	Λ		
4 31	Λ		
5 39	▲		
6 51	←		
7 57	▲		
8 90	∇		
9 92	∇		
10 93	∇		
11 94	∇		
12 M	∇		

○---1000---○
○---500---○

⑭

D 21B	D 19-20B	D 15-16B	D 17-18B	D 35B	D-0B	5800
1 80	∇	∇	∇			
2 86	∇	∇	∇			
3 35	Λ					
4 40	Λ					
5 47	X					
6 72	∇					
7 63	⊖					
8 95	∇					
9 M	∇					

○---500---○

⑮

D 17N	H 16N	H 17N
0-N	4600	
1 76	∇	T
2 78	∇	T
3 32	∇	
4 65	∇	
5 62	∇	
6 95	∇	
7 M	∇	

○---500---○

- 記号の意味
- 1(76) 建物 北窓の角
 - 2(78) フェンス 北窓の角
 - 3(32) 小窓の交点
 - 4(65) 小窓の分岐
 - 5(62) 小窓の分岐
 - 6(95) 小窓の分岐
 - 7 M 窓の分岐
- 丁-ル: 赤旗のテラスと500m

②

D 21E	D 19-20E	6700	7440
1 84	⊖		
2 40	Λ		
3 45	←		
4 52	∇		
5 57	▲		
6 88	○		
7 92	∇		
8 93	∇		
9 M	∇		

○---1000---○
○---500---○

④

H 21-A1	8200
1 63	⊖
2 82	Λ
3 49	Λ
4 42	Λ
5 44	Λ
6 52	∇
7 57	▲
8 59	∴
9 60	←
10 92	∇
11 93	∇
12 M	∇

○---1000---○
○---500---○

⑥

H 19-20A1	7100
1 65	∇
2 39	∩
3 43	Λ
4 51	Λ
5 55	∇
6 87	↓
7 92	∇
8 93	∇
9 M	∇

○---1000---○
○---500---○

⑨

H 17-8A	D 19-20A	7000
1 71	∴	
2 38	∇	
3 41	π	
4 45	←	
5 55	∇	
6 88	○	
7 90	∇	
8 92	∇	
9 93	∇	
10 94	∇	
11 M	∇	

○---1000---○
○---500---○

⑪

H 60-A	H 13-14A	D 50 A	D 45 A	5700
1 74	←			
2 85	∇			
3 82	Λ			
4 32	∇			
5 39	∩			
6 47	X			
7 67	∴			
8 63	⊖			
9 95	∇			
10 M	∇			

○---500---○

⑬

H 21 B	H 19-20B	6600
1 74	←	
2 77	π	
3 82	Λ	
4 34	X	
5 36	∩	
6 40	Λ	
7 46	X	
8 100	X	
9 88	⊖	
10 95	∇	
11 M	∇	

○---500---○

⑭

D 13-14	D 40B	D 45B	D 50B	D 55	H 13-14B	H 50B	H 55B	H 60B	H 65	H 70	4400
1 75	X										
2 85	∇										
3 33	←										
4 97	∴										
5 71	∴										
6 63	⊖										
7 95	∇										
8 M	∇										

○---500---○

⑦

H 19-20A2	6900
1 67	∴
2 39	∩
3 44	Λ
4 51	Λ
5 55	∇
6 87	↓
7 92	∇
8 93	∇
9 M	∇

○---1000---○
○---500---○

⑬

H 15-16B	H 17-18B	H 35B	H 40B	H 45B	H-0B	6300
1 79	π					
2 85	∇					
3 34	X					
4 38	∇					
5 40	Λ					
6 46	X					
7 65	∇					
8 63	⊖					
9 95	∇					
10 M	∇					

○---500---○

⑮

D-10	D 11-12	H-10	H 11-12	4800
1 75	X			
2 78	∇			
3 83	Λ			
4 31	Λ			
5 70	X			
6 62	∇			
7 95	∇			
8 M	∇			

○---500---○

H21B 80%満足

早春の大和路、いつも通りのH21Bヘントリー。JOLCのお手伝いのためスタート時刻は10:33へ変更になりましたが、とにかく気持の良い天気。少し早めにスタート地点へ。いつもの顔やら、なつかしい顔があちらこちらと見えます。平松氏もスタートを待っています。他の仲間はまだスタートしたようです。

さて、時報と共に飛びだします。何の団体なのか一般の人がNo1の方向へ向かう小道を通っているため走るに走れず何とかかわして南の竹林へ飛び込みます。印刷のズレか位置説明と円が違います。事前に注意書きしていますが実際に見ると現地ととまどうものです。No2へは道を南西へ600m程走ります。ここで大西さんと会い互いに健闘を誓い更にラン……ですが少し身体が重い。(84kgだから当然かな?)ハーッハーッ息せききってまた竹林へ飛び込みチェック。No3へも道をラン。しんどいですね土塵を越え、またまた竹林の沢へアタック。地元の作業しているオバさんオジさんへ声をかけながらチェック。No4へは湿地を目標に走りグリーンを越えて尾根にとりつきチェック。木の枝をかきわけくり沢へ下り再び登り、小道へでて下り倒木のNo5チェック。元の小道へ戻ってNo6へ走ろうと思うのに足が重くて走れず歩いて沢へ入る。ここでミス、手前の沢へ入ってしまい北の小道まで行ってミスに気付く元分岐に戻り再び沢の奥へ。やっとチェック。あとは植林地の中を下りしばらくして又、植林地の中を登りそしてNo7をチェック。ここから下の道へ一気に下りNo8まで1km強のランコース。ここは走らねばとの想いで必死に走ります。走れました。途中の救護所で水でも飲んでと思ったのですが見当たりません。あやうくオーバーランしそうになったのですが気付いてNo8へ。少しオーバー。でも位置説明を訂正しているのですが見にくいこと、もっとはっきり訂正してほしいものです。ここからNo9, 10, 11とは簡単なポスト。ただ走るだけ。学校へ入ってから最後の数10mダッシュしてゴール。前日のトレーニングコースの設定でなんとか奈良のクセ(設置の場所)がわかったのか、やっぱり簡単なのか、もっと走力があればあと20~30分は短縮できたコース。その分20%をマイナスして80%の満足OLでした。でも、今年は1月から5日の大会運営、11日のトレコース設定、12日の本番とOLに忙しい年になりそう。頑張るっきゃない。楽しまなくちゃネ! =瀬戸 記=

OLミニ知識

今回トレーニングコース(西日本大会)の設定の為、JOLC技術委員の田口先生と一緒にグレンデを歩き、コース設定等を行う機会に恵まれ今まで何となく分かったつもりでいたこと、間違っていたことなどがあり、いくつか整理してみました。

- 1 コースはベストルートの距離を示すこと。

直線距離か最短距離なのかと迷ったりしていましたが、ベストルートの距離ということです。最短ではないのです。

外国のグレンデでは日本と違い直線的に走れる為、主に直線の距離が出るそうですが日本では迂回したほうがベストの場合もあり、又直線が無理の地形の為です。オリエンティアはスタートで何キロ走るのだと予定しているのにコース距離を大きく上回れば体がとまどうことになります。

- 2 ポストフラッグはヒザ位の位置に置くこと。(ポストに関する規程第7章第9条)

PCのように目立つように置いていたのが今までの私達だったと思います。もちろんケースバイケースなのでしょうが、個人クラスを対象とした場合にはこのようにしましょう。再確認でした。

- 3 つりポストの場合パンチ等はポストフラッグとは別につけること。

いままでは私達の場合フラッグにくくりつけていましたが、その場合フラッグがはずれたり、パンチ、クレヨンが落ちたりすることがあります。そのリスクを避ける為にフラッグとは別につけたほうが良いということです。(ポストに関する規程第7章第11条)

- 4 ポスト位置説明は事前に渡す方がベスト。

別にきまりはないようですが諸外国でも行われているようです。スタート一分前に地図をもらってからでは地図を読むだけで位置説明を見る余裕がないからです。

何で今更こんなことをと言うようなことでも確認の意味でも読んでください。今後いろんな事柄について載せるようになります。会員みなさんで気付いたことがありましたら編集

